

## エゾシカ・ヒグマワーキンググループの経過報告・今後の予定

### 1 エゾシカ・ヒグマワーキンググループの設置について

#### (1) 目的

知床半島エゾシカ管理計画及び知床半島ヒグマ管理計画の実施に関する科学的な評価及び助言を得ることを目的として、知床世界自然遺産地域科学委員会・設置要綱第4条第4項に基づき、エゾシカ・ヒグマワーキンググループを設置する。

#### (2) エゾシカ・ヒグマワーキンググループの役割

知床世界自然遺産地域及び隣接地域における「エゾシカ管理」、エゾシカ対策の進展に伴う生態系（植生）の反応を評価するための「植生指標」の検討、及び「ヒグマ管理」を取り扱い、各管理計画（年度毎の実行計画及びアクションプランを含む）の実施及び改定等に関する科学的な助言を行う。

### 2 経過報告

#### H30 年度エゾシカ・ヒグマ WG の開催概要

##### ●第1回会議

平成 30 年 5 月 24 日（木） 釧路市 （ヒグマ関係）

平成 30 年 5 月 25 日（金） 釧路市 （エゾシカ関係）

##### ○主な議題

##### <ヒグマ関係>

- ・2017（平成 29）年度アクションプラン実施結果について
- ・2018（平成 30）年度アクションプランについて
- ・モニタリング及び調査・研究について

##### <エゾシカ関係>

- ・2017（H29）シカ年度実行計画実施結果について
- ・2018（H30）シカ年度実行計画案について
- ・植生モニタリング及び植生指標について

##### <共通>

- ・長期モニタリング計画の見直しについて

##### ○主な内容

##### <ヒグマ関係>

- ・平成 29 年度のアクションプランの実施結果を踏まえ、岩尾別川河口部における混乱の発生に関して、利用者のさらなるアクセスコントロールを行うための現実的な仕組みについて、容易に達成できるものではないものの引き続き検討・調整を行うことが必要とされた。
- ・管理計画に基づくモニタリングの実施結果及び目標の達成状況（資料 2-1-1）について、可視化されたことは大きな前進との意見が出た一方で、達成できなかった項目を検証し、次年度のアクションプランにフィードバックするという考え方が必要であるとされた。
- ・個体群の動向を継続的に把握していくための調査体制作り及び個体数推定手法の改善が今後の検討課題とされた。

#### <エゾシカ関係>

- ・H29 シカ年度の個体数調整の結果について、世界遺産地域内での総捕獲数及び航空カウントによる発見密度は、知床岬地区 8 頭、12.5 頭/km<sup>2</sup>、ルサー相泊地区 78 頭、1.9 頭/km<sup>2</sup>、幌別ー岩尾別地区 109 頭、1.9 頭/km<sup>2</sup>だった（詳細は資料 2-1-2 参照）。針葉樹が多い植生では見落とし率が問題となることが指摘された。
- ・世界遺産隣接地域における個体数調整の結果は、宇登呂地区 26 頭、遠音別地区 20 頭、真鯉地区 14 頭、春苧古丹 16 頭だった（詳細は 2-1-3 参照）。捕獲頭数については小雪の影響が考えられた。
- ・世界遺産隣接地域における管理方針の一つであるコミュニティベースの個体数調整（資源の持続的利用）について、地域住民や関係者それぞれの立場を考慮しつつ、第 4 期計画に向けて、引き続き検討することとなった。
- ・植生モニタリング調査では、広域森林調査において、知床岬地区の林床のササの被度と嗜好種の回復傾向がわずかにみられ、また海岸草原の調査では柵外で一部の草本の回復傾向がみられるなど、エゾシカの個体数調整の効果が示唆された。一方で、森林における下枝や稚樹などは回復傾向がみられず、木本類の回復には時間がかかると考えられた。
- ・植生モニタリングのデータベース（主にメタデータ）の構築について検討を行った。

#### <共通（長期モニタリング計画の見直しについて）>

- ・長期モニタリングとして行う項目と、管理計画のモニタリングとして行う項目の整理を行った。WG としては評価項目Ⅲ（生物多様性の維持）、Ⅵ（エゾシカによる過度の影響）、Ⅶ（レクリエーション利用）について担当していく。
- ・エゾシカ・ヒグマ WG が担当する評価項目Ⅵのうち、No. 11 のシレットコスミレは、高山帯の生態系全体で考える必要があり、科学委員会で評価する方が適当では

ないか、との意見があった。

- ・エゾシカ・ヒグマ WG が評価を担当する No. 15 の中小大型哺乳類については、事務局の見直し案では評価者を科学委員会としていたが、哺乳類の専門家が多数いるエゾシカ・ヒグマ WG による評価が適しているのではないかと、との意見があった。
- ・これらの意見等について、第 2 回の科学委員会での報告に向けて引き続き議論し、第 2 回 WG で見直し案を固めることとなった。

### 3 今後の予定

#### H30 年度エゾシカ・ヒグマ WG の開催予定

##### ●植生指標検討部会

平成 30 年 10 月頃 札幌市

主な議題（予定）

- ・植生調査結果（速報）について
- ・植生指標の評価手法等の検討について

##### ●第 2 回WG会議

平成 30 年 11 月頃 釧路市

主な議題（予定）

<ヒグマ関係>

- ・平成 30 年度ヒグマ管理対策結果（速報）
- ・ヒグマ管理計画アクションプランの検討

<エゾシカ関係>

- ・H30 シカ年度植生モニタリング事業結果（速報）
- ・隣接地域の管理方針の検討
- ・植生指標について

<共通>

- ・長期モニタリング計画の見直しについて